

(公財)日本バドミントン協会 ランキング規定

定義 (公財)日本バドミントン協会は競技者のランキングについて、ポイントを基礎とした方法でプレーヤーの実力の順位を表すものとする。

目的 (公財)日本バドミントン協会はランキングを公表し、そのランキングにより国内・国外競技会の選手選考基準とする。

発表 月1回、第1日曜経過後の金曜日とする。
但し、ランキングサーキット大会、全日本総合選手権大会の日程によっては追加発表することもある。

日本ランキング対象大会

- A) 全日本総合選手権大会
- B) 日本ランキングサーキット大会
- C) 所属大会
 - ① 全日本社会人選手権大会
 - ② 全日本学生選手権大会
 - ③ 全国高校総合体育大会
 - ④ 全日本ジュニア選手権大会(高校生については③との高い点の一方を採用する)
- D) 国際大会

国内ランキング対象大会ポイント表

順位	総合	サーキット	社会人	大学生	学生混合	高校	Junior
1	1000	600	400	400	400	400	400
2	850	510	340	340	340	340	340
~4	700	420	280	280	280	280	280
~8	550	330	220	220	220	160	160
~16	400	240	160	150	150	120	120
~24	250	195	100	90	90	80	80
~32	250	120	100	90	90	80	80
~64			80	60	60	40	40
予選決勝敗退	150						
予選準決以下敗退	100						

* 日本ランキング大会において初回戦を棄権の場合、ポイントは0とする。

ダブルスのエントリー、シード及び組合せに関して

ダブルスのペアの組替えにおいて過去104週にポイント獲得実績のないペア(新ペア)は

- ①エントリー エントリーでの優先順位は個人ポイントを100%同士でペアポイントとする。
- ②シード・組合せ個人ポイントを80%として計算し、組合せ及びシードに生かす。
(全日本総合のシードにおいては100%のままとする)

国内大会ボーナスポイント

全日本総合、日本ランキングの2大会を対象として設定されていたボーナスは廃止する。

国際大会ポイント

日本ランキング発表時における過去104週間の国際大会での成績がポイントとして獲得できる。

日本ランキングポイント算出基準

全日本総合を基本とし、年間3大会、2年6大会をポイント対象とする。

但し、1～52週は100%、53～104週は50%で計算する。

尚、所属大会、ランキング大会、国際大会において

獲得ポイントの大きい大会から年間3大会を採用する。

ただし、国際大会は1～52週は上位2大会、53～104週は上位1大会のみ採用する。

国際大会ポイント表

順位	BWF	SSP S1000	SS S750	SS S500	GPG S300	GP S100	IC
1	2000	1700	1600	1280	720	480	270
2	1630	1340	1280	1020	580	380	220
～4	1340	1000	960	770	430	290	160
～8	1060	700	680	540	300	200	110
～16	760	480	460	370	210	140	X
～32	480	260	250	200	120	X	X
3	1440						
4	1240						

アジア大会	
1	1200
2	800
～4	560
～8	320

BWF : BWFイベント、オリンピック

SSP : プレミアムスーパーシリーズ

SS : スーパーシリーズ

GPG : グランプリゴールド

GP : グランプリ

IC : インターナショナルチャレンジ

S1000,S750,S500,S300,S100 : 2018年からBWFで設定された
HSBC BWF World Tour Super 1000～100 に対応

本規定の見直し

本規定は原則として毎年、諸状況を加味して見直すものとする。

2009年5月25日改訂

2010年9月8日改訂

2017年1月1日改訂

2018年1月1日改訂

この規定は2018年1月の大会より適用する。(2018年2月発表分)

2017年12月までに行われた大会は従来の方式で算出する。

今回の変更では、BWFのグレード変更に対応してS500を追加した。

日本ランキングの登録情報について

日本ランキング表の表記に変更のある場合は必ず日本バドミントン協会事務局に申告してください。

年度内、年度をまたぐ場合、姓名の変更なども発生時に連絡をお願いします。